

# リサーチ・コンシェルジェの説明による新包括同意バイオバンクの運用開始

## ① バンク受け入れをより多くのがん種に拡大

- 診療後の余剰検体
  - ✓ がん組織
  - ✓ 血清・血漿

## ② 新たに開始

- 研究のための追加採血(14mL\*)
    - ✓ ゲノムDNA
    - ✓ 血漿
- (\*16歳未満は減量)

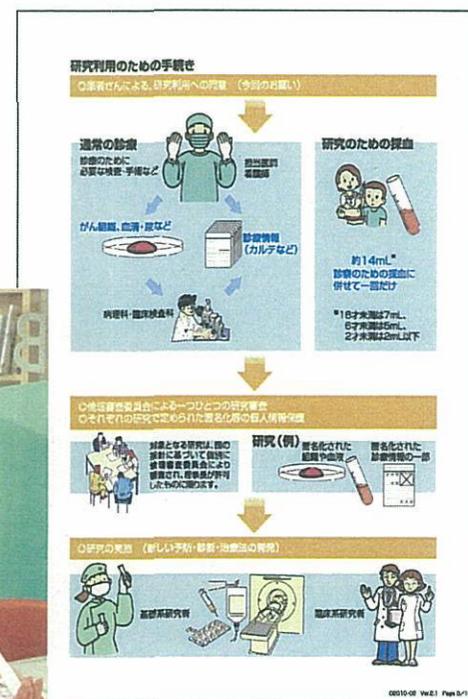
- ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針への対応
- 見なし同意廃止(opt-inへ移行)
- **リサーチ・コンシェルジェ**による個別面談・説明

2011年5月13日～2012年3月31日

- 説明対象者数 9,170名
- 同意者数 8,601名
- 同意撤回数 5名
- **同意割合 93.8%**

①より強かに「がんの個性」をとらえて、診断・治療の標的を同定する。(～創薬)

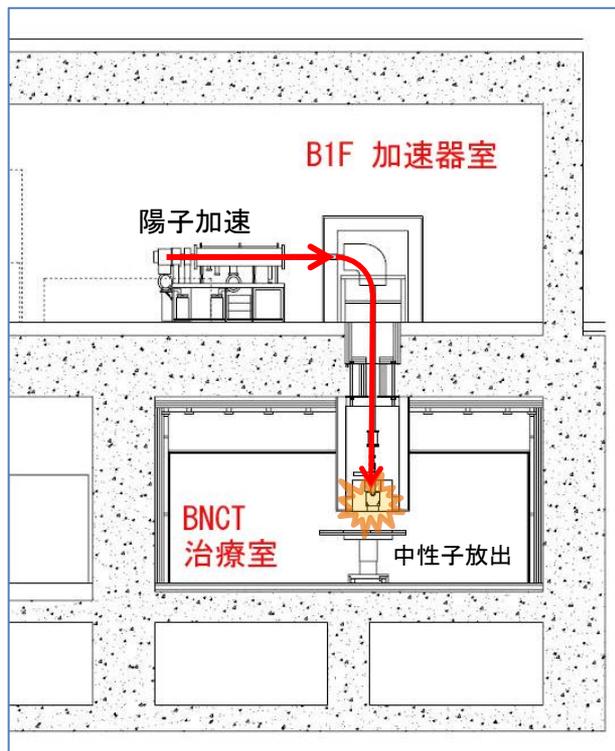
②「患者の個性」をとらえて、一人ひとりに最も適した予防法・治療法を開発する。(～個別化医療)



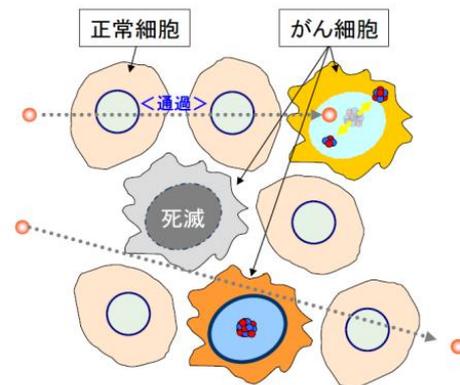
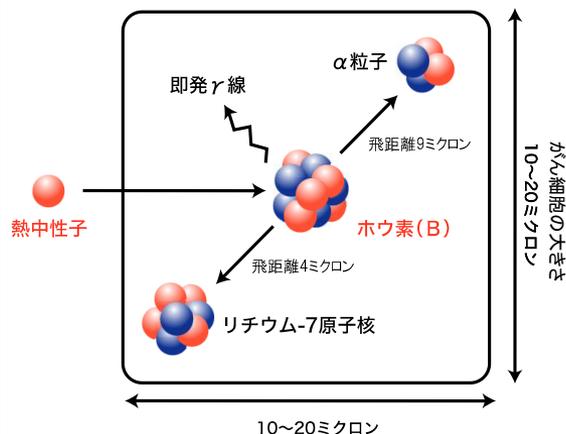
# BNCT(ホウ素中性子捕捉療法)概要

がん細胞への効果の大きい中性子を利用した特別な治療方法で、病院設置型としては世界で初の治療方式。

ホウ素を取り込んだ、がん細胞のみが中性子と反応して細胞一つ一つの単位で破壊される方法。



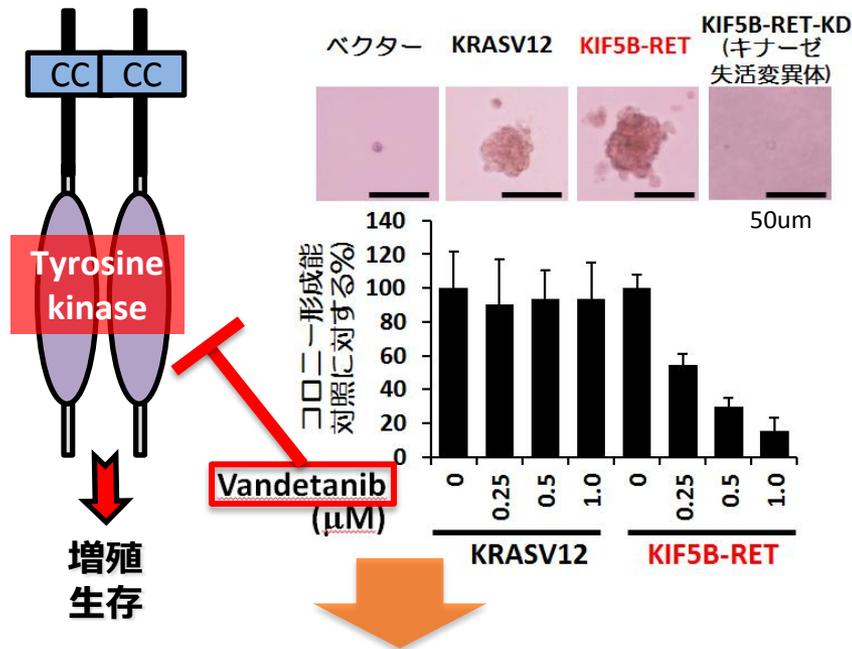
● がん細胞内での熱中性子とホウ素の反応



# 肺腺がんの治療標的となりうる複数の新規融合遺伝子の同定

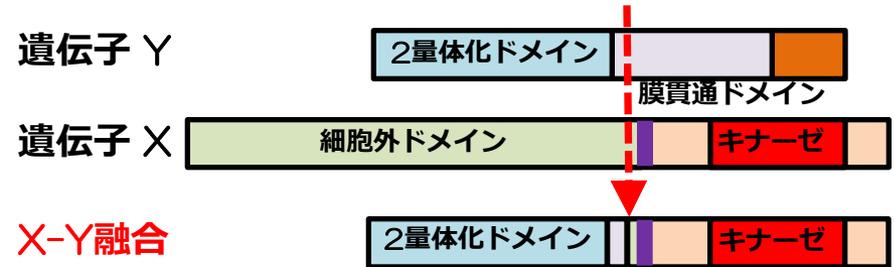
遺伝子	頻度	分子標的薬
EGFR	50%	gefitinib, erlotinib
EML4-ALK	4%	crizotinib
KIF5B-RET	2%	vandetanib?
X-Y	数%	?

## KIF5B-RET融合遺伝子

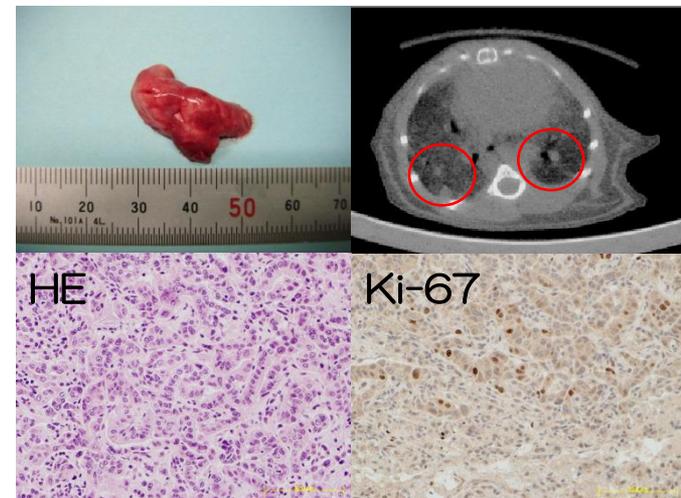


臨床試験による治療効果の検証  
→個別化医療の拡大

## 新規融合遺伝子



肺特異的に融合遺伝子を発現する  
遺伝子改変マウスの作製



肺がん治療薬・バイオマーカー開発へ応用